

# 巻頭言

さいたま市教育委員会 鯉 沼 貢  
副 教 育 長

## 規範意識をはぐくむ

改正された学校教育法において、義務教育の目標の中に「規範意識」が明記された。近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの規範意識が諸外国と比較して低いことが指摘されている。それゆえ、子どもの規範意識の低下に歯止めをかけ、その意識を高めていくことが求められている。

私は以前、ソフトボールを指導しながら地域の多くの子どもたちをみてきた。その時、指導の中ではもちろんのこと、指導以外の場でも子どもたちが悪いことをすれば叱り、よいことをすれば褒めるということをいつも意識して行っていた。他の指導者も同じであったと思う。そのことを通して、子どもたちにきまりを守ることの意義や大切さを教え、規範意識をはぐくんでいきたいと考えたからである。

今まで、子どもたちは家庭や地域社会において、規範意識を身につけてきた。しかし、今日、核家族化が進んだことや地域における人とのつながりが薄れてきたことによって、それが難しくなってきた。「潤いのある教育の一層の推進」に向けて、学校は子どもたちの規範意識をはぐくむべく、さらに力を注ぐとともに、家庭、地域との協力・連携を図っていくことが大切である。